

# 小學讀本

竹下權次郎編纂

卷二下

特34

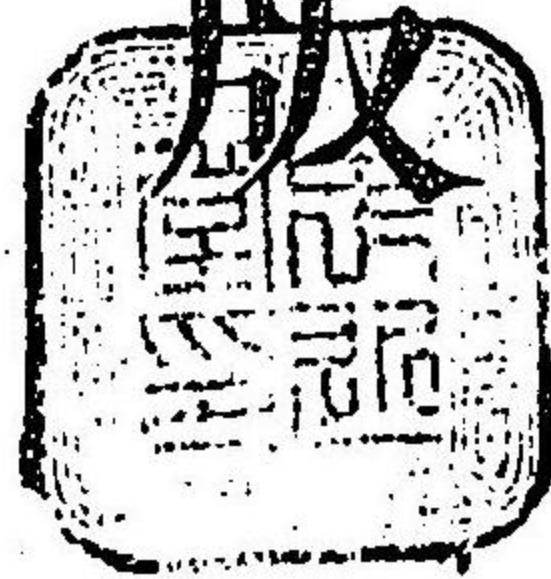
979

館籍出會育教本日大			
三			二
五册	二號	二架	六函

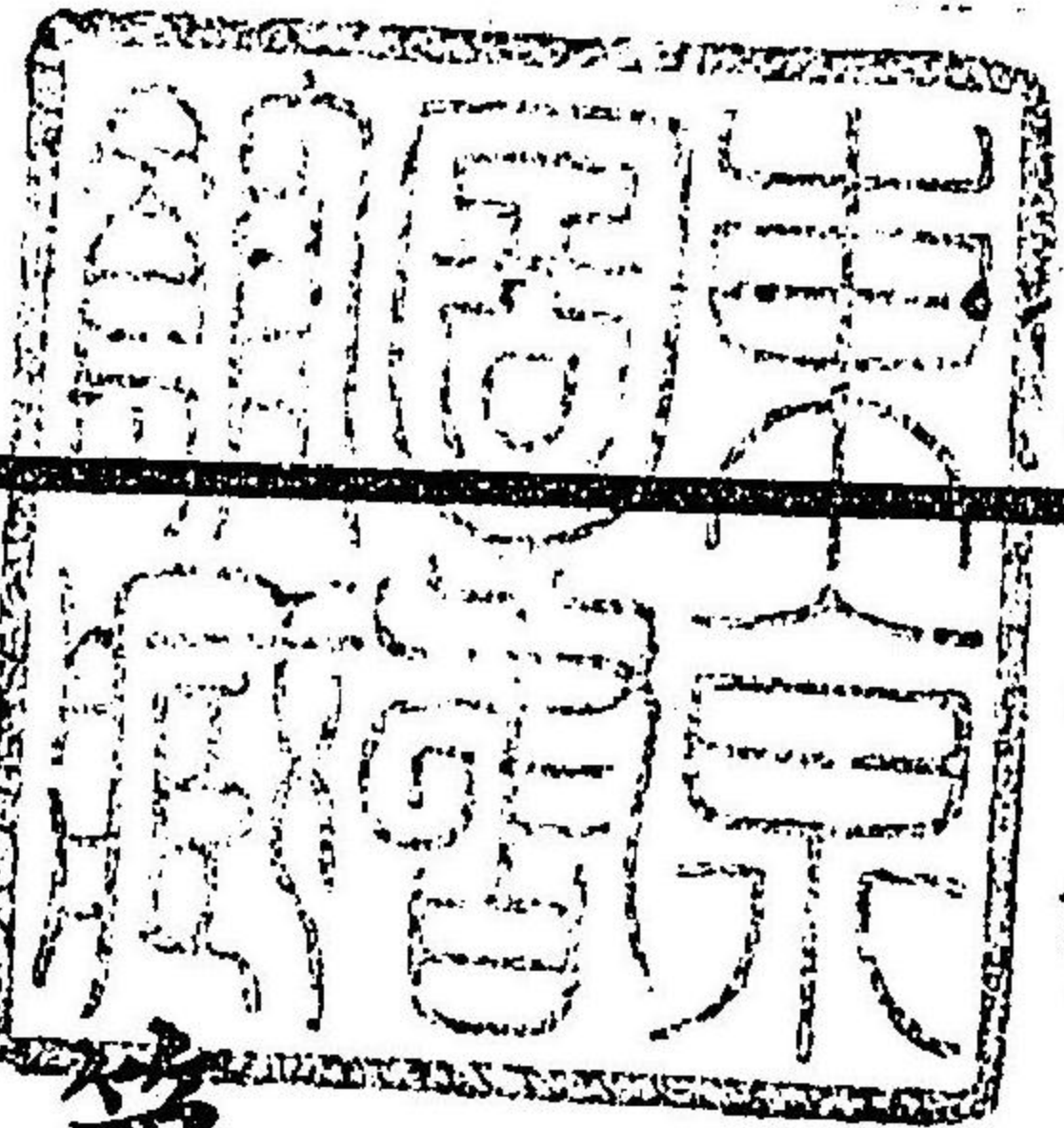
竹下權次郎編纂

小學讀本 卷下

東京 中近堂藏版



No 6046



小學讀本卷二下



東京 竹下權次郎編纂



第二十五

勉強ハ賢愚貧富ノ基

○人ニ賢キ者ト愚ナル者トノ差アルハ幼少ノ時ヨリ勉強シテ學ブト怠惰ニシテ日ヲ暮ストノ差

小學讀本

卷二下

中近堂藏版

アルニ因ル  
賢キモ愚ナルモ貴キモ賤シキモ  
富ミタルモ貧シキモ皆勉強スル  
ト否トニ基クモノナレバ人タル  
者ハ勉強ノ必要ナルヲ常ニ忘  
ルベカラズ

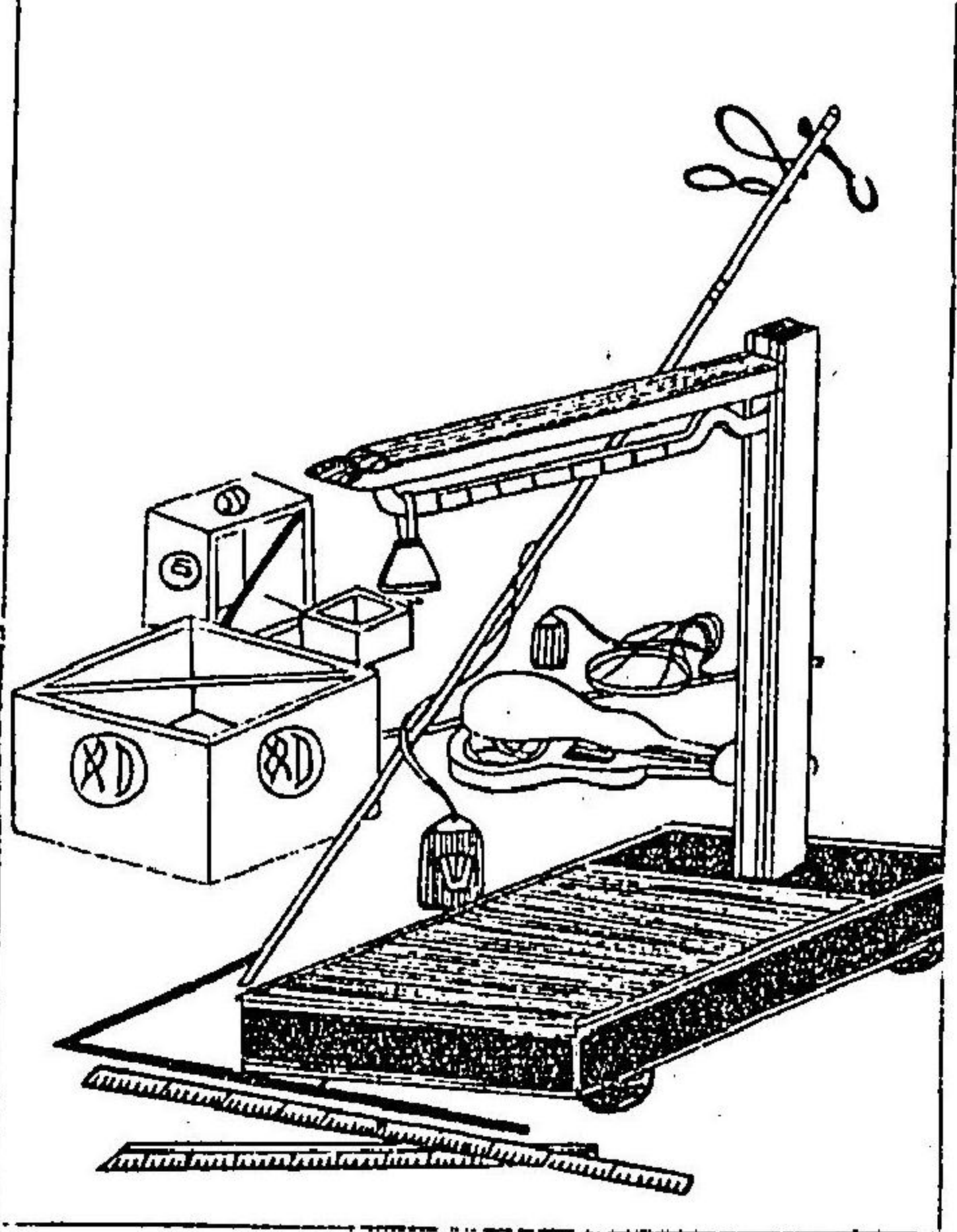
第二十六 時ハ大切ニスベシ

○時計ハ時ヲ計ル器ナリ人ハ時  
計ニ依リテ能ク時ヲ知ル一晝夜  
二十四時間ニシテ一時間ハ即六  
十分一分間ハ即六十秒ナリ故ニ  
一時間ハ三千六百秒ナリ  
一秒ノ時間ハ短シト雖之ヲ忽ニ  
スレバ忽積テ一時間トナリ其過

善言ノ 卷二  
 吉去リタル時間ハ再復ルナシ  
 人タル者富貴ノ身トナランナラ  
 望マバ先時ノ大切ナルヲ察シ  
 一秒ノ時間モ之ヲ空シク過ス  
 勿レ

第二十七 拵秤尺

○拵ハ米麥大豆小豆粟稗菜種等



ノ類又ハ酒醋醬油鹽油等ノ量ヲ  
 ハカル器ナリ秤ハ炭薪煙草味噌  
 等ノ類又ハ金銀銅鐵等ノ重サヲ  
 量ル器ナリ尺ハ  
 木棉絹縮緬等ノ  
 長サヲハカル器  
 ナリ

秤ニ大小アリ又形ノ種々異ナル  
 モノアリ拵ノ大ナルモノハ一斗  
 升トス其小ナルモノハ一合拵ト  
 ス又五勺拵モアリ尺ニハ吳服尺  
 曲尺ノ別アリ曲尺ノ一尺ハ吳服  
 尺ノ八寸ニ當ル吳服尺ハ又鯨尺  
 トモ云フ

第二十八 雞ト子供

○此雞ハ能ク人ニ馴レタルガ故



少シモ人ヲ恐ル  
 ルトナシ然レ氏  
 惡シキ子供ニハ  
 近ツカズ  
 彼二人ノ子供ハ

兄弟ナリ兄ハ善キ子供ニシテ惡  
 シキヲ爲サズ故ニ雞ハ兄ヲシ  
 タヒ近ヅケドモ弟ハ雞ニ石ヲ投  
 ゲ或ハ之ヲ逐ヒテ常ニ其遊ヲ妨  
 グ故ニ弟ヲキラヒテ近ヅカサル  
 ナリ惡シキ者ハ鳥ニダニモ嫌ハ  
 ル

第二十九

若キ時ハ働クベシ



○老人ノ杖ヲツ  
 キテ歩ムハ身體  
 ノ力弱リタルガ  
 故ナリ  
 此老人モ子供ノ  
 時ハ學校ニ行キ

テ書物ヲ讀ミ手習シ又算術ヲ習  
 ヒ勉強シタルトアルベシ  
 今ノ子供モ此老人ノ如ク腰ハ屈  
 ミテ杖ニ倚ラザレバ歩ムト能ハ  
 ザルニ至ルモノナリ  
 人ハ若キ時ニ働カザレバ年老テ  
 幸福ヲ得ルト能ハズ若キ時ニ能

ク働キテ老後ノ用意ヲ爲サレ  
 バ身ヲ全クスルトヲ得ザルベシ

第三十 鳶ト鳥



○鳶ハ鳥ヨリ大  
 ナル鳥ナリ鳥ノ  
 色ハ黒ク鳶ノ色  
 ハ茶褐色ニテ之

ヲ鳶色ト云フ

鳥ハ田畠ニ下リテ穀物ヲ食ヒ又

蟲類ヲ食フ鳶ハ小鳥ヲツカマズ

ト雖人ノ持タル魚類ヲツカミ去

ルコアリ

鳥ハ田畠ヲ荒ラシ又果物ヲ食ヒ

實ニ害ヲ爲スコ少カラズト雖又

田畠ニ害アル蟲類ヲ食フが故唯  
害ヲ爲スノミニアラズ

第三十一 日用器物

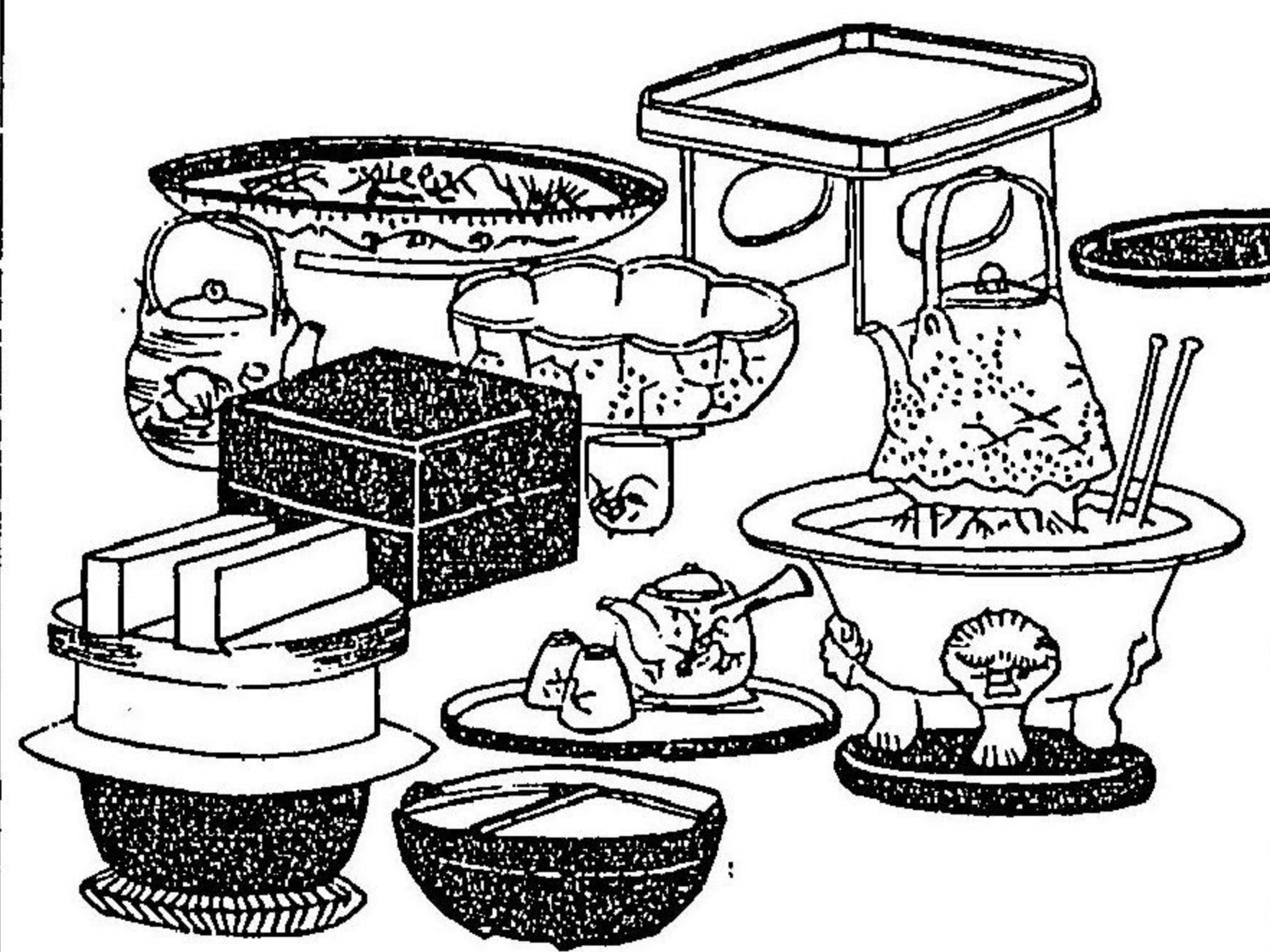
○鐵瓶ハ湯ヲ沸スモノナリ土瓶

モ亦湯ヲ沸スニ用ウ火鉢ハ炭ヲ

入レテ火ヲオコスニ用ウ茶碗皿

鉢ノ類ハ土或ハ石ヲ粉ニシテ種





種ノ形ヲ作り之  
 ヲ燒キタルモノ  
 ナリ  
 鐵銅錫等ノ類ヲ  
 以テ作りタル品  
 ヲスベテ金物ト云ヒ土或ハ石ノ  
 粉ニテ作りタル皿鉢ノ類ハ磁器

陶器又ハ瀬戸物トモ云フ鐵瓶土  
 瓶火鉢火箸茶碗皿鉢其外盆膳重  
 箱鍋釜等ノ類ハスベテ日用ノ器  
 物ナリ

第三十二 衣服

○衣服ハ反物ヲ裁チテ縫ヒタル  
 モノナリ反物ニハ棉布絹布麻布

小學詩才 卷二 中近堂藏版

毛織物等ノ類種々アリ  
 都テ反物ヲ賣ル店ヲ呉服店ト云  
 フ人皆呉服店ニテ好ミノ品ヲ買  
 ヒ之ヲ衣服ニ仕立ツルナリ  
 衣服ニハ單物袷綿入肌著股引羽  
 織袴等ノ別アリ又衣服ニ襟袖袂  
 等ノ名アリ袂ナキ袖ヲ筒袖ト云

フ

第三十三 ハキ物雨具

○履物ハ下駄草履靴等ノ類ニシ  
 テ種々ノ名アリ下駄ハ桐ヲ以テ  
 作りタルモノヲ通例トス然レモ  
 他ノ木ヲ以テ作りタルモノ又少  
 カラズ草履ハ藁ヲ以テ作り靴ハ

獸類ノ皮ニテ作ル靴ニ半靴長靴ノ別アリ

雨具トハ傘笠合羽等ノ類ナリ傘ハ竹ヲ割リテ骨トシ之ニ紙ヲ張りテ油ヲ塗リタルモノナリ笠ハ竹ニテ骨ヲ作り之ニ筍ノ皮ヲ縫ヒ付ケタルモノアリ又菅ヲ縫ヒ

付ケタルモノアリ合羽ハ紙ニ油ヲ塗リテ之ヲ作ル近來ハ他ノ品ニテ作りタルモノアリ又傘ニ鐵ヲ以テ骨ヲ作り之ニ絹ヲ張りタルモノアリ之ヲ蝙蝠傘ト云フ蝙蝠傘ハ晴天ニモ雨天ニモ之ヲ用ウルヲ得テ便利ナル

モノナリ

第三十四 蝶ノ話

○雄蝶雌蝶ハ花ニ戯レ野ニ遊ビ  
 テ人ノ愛スル蟲ナリ汝等モ亦之  
 ヲ愛スルカ  
 彼雌蝶ハ多クノ小サキ卵ヲ生ム  
 汝等ハ此卵ヨリ如何ナルモノハ



生ズルト思フカ此卵ヨリ生ズル

モノハ蝶ニ非ズ  
 シテ毛蟲又ハ蠶  
 ノ類ナリ此等ノ  
 蟲ハ草木ノ葉ヲ  
 食ミ成長シテ巢  
 ヲ作り巢ノ中ヨ

リ蝶ニ化シテ外ニ出ヅルヲ蠶ノ  
 繭ヲ作りテ蝶トナルニ異ナラズ  
 絲ハ蠶ノ巢ヨリ取りタルモノニ  
 シテ我國産物ノ重ナルモノナリ  
 蠶ハ桑ノ葉ヲ食ヒテ成長ス我國  
 ニハ蠶ヲ養フヲ業トスルモノ  
 甚多シ

第三十五 熱

○鍋ハ銅ヨリ作りタルモアリ鐵  
 ヲ以テ作りタルモアリ又土ヲ以  
 テ作りタルモアリ銅鍋ハ物ノ烹  
 ユルヲ速ニシテ又冷ユルヲモ速  
 ナリ土鍋ハ烹ユルヲ遅クシテ冷  
 ユルヲモ亦遅シ是銅ハ熱ヲ傳フ

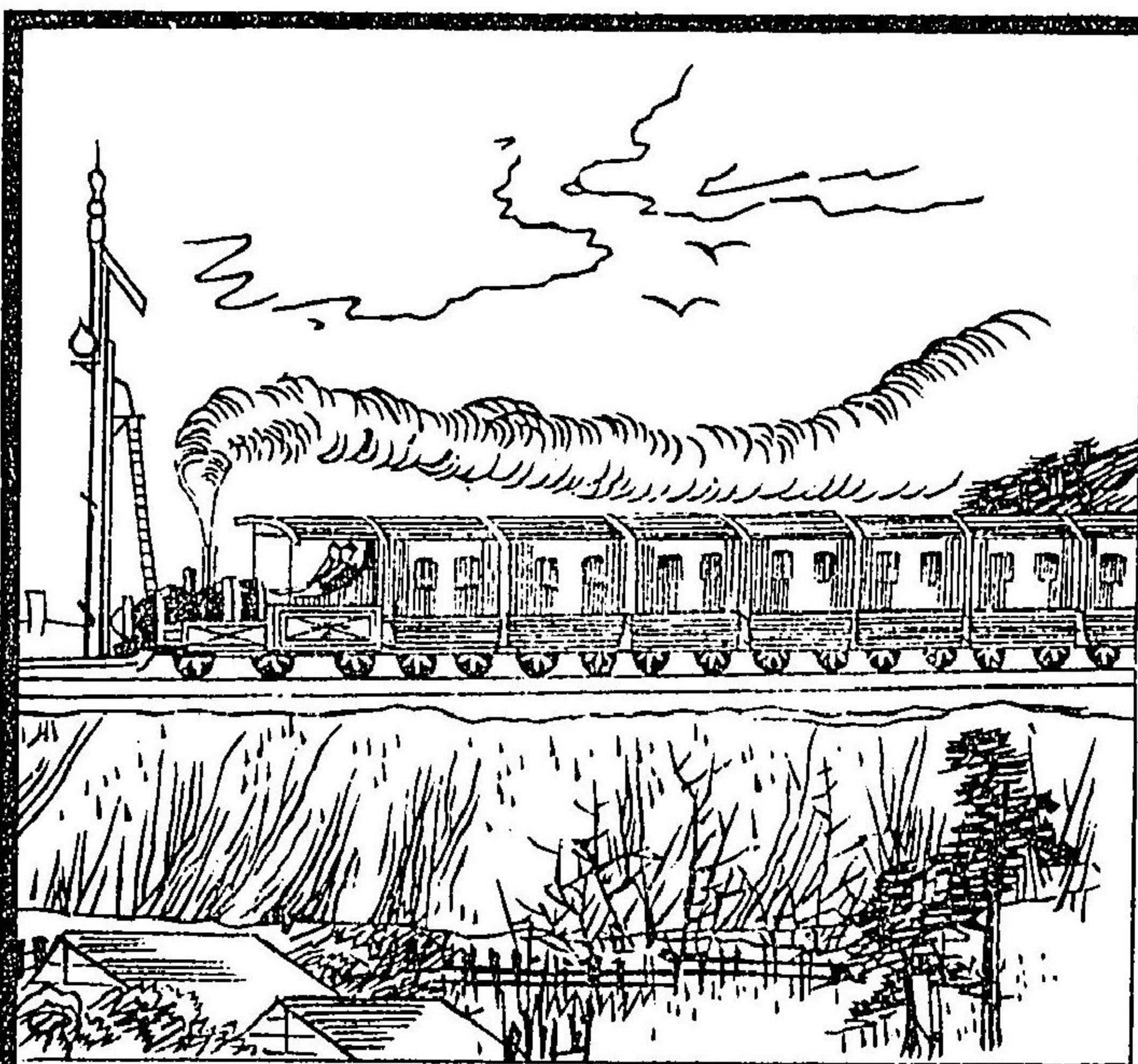
ルト土ヨリモ速ナルガ故ナリ  
 鐵鍋ハ銅鍋ヨリモ遅クシテ土鍋  
 ヨリモ速ナリ是鐵ノ熱ヲ傳フル  
 ト銅ヨリ遅ク土ヨリ速ナルガ故  
 ナリ鐵又ハ銅ニテ作りタル火箸  
 ハ火ニ觸レザル所マデ熱クナレ  
 氏木ハ其一端燃ユルモ燃エザル

方ハ熱カラズ木ノ熱ヲ傳フルハ  
 金物ノ如クナラザルト以テ知ル  
 ベシ

第三十六 鐵道

○鐵道ハ車輪ノ地ニ觸ル、所ニ  
 鐵ヲ布キテ其運轉ヲ容易ニシタ  
 ルモノナリ

鐵道ノ車ハ蒸汽器械ノ仕掛ニテ



運轉ス之ヲ機關  
車ト云フ機關車  
ノ後ニ多クノ車  
ヲ列ネテ人ノ乘  
ルベキモノアリ  
荷物ヲ積ムベキ

モノアリ

鐵道ノ上ヲ蒸汽車ノ走ルハ甚速

ナルモノニシテ人歩行スレバ一

日ヲ費スベキ行程モ蒸汽車ナレ

バ僅ニ一時間ニシテ達スルヲ

得ベシ世界ニテ文明ノ國ニハ會

社ヲ組ミ資本金ヲ集メテ多クノ

鐵道ヲ設クルモノアリ

第三十七 風

○風ハ目ニ見エザレモ物ニフル  
ル時ハ其音耳ニ聞クヲ得ベシ  
風強ク吹ク時ハ屋根ノ瓦ヲ吹飛  
バシ或ハ大ナル木ノ枝ヲ折ル其  
力ノ強キヲ恐ルベキモノナリ



ト飛ビ來リテ意外ノ不幸ヲ來ス  
トアレバナリ

故ニ大風ノ吹ク  
時ハ外ニ出テ、  
危キ所ニ行クベ  
カラズ風ニ吹キ  
倒サレ或ハ瓦ナ



第三十八 會社ノ話

○會社トハ多クノ人資本金ヲ出シ合セ大ナル事業ヲナスモノナリ有益ナル事業モ一人ノ資本金ニテ之ヲ起ストヲ得ザル時ハ會社ヲ設ケ多クノ人ヨリ資本金ヲ出シ合セテコレヲ起シ大ナル利

益ヲ得ルモノナリ

鐵道造船ノ如キ多クノ資本金ヲ要スル事業ハ多クハ會社ヲ設ケテ之ヲ起ス會社ノ設立ハ世ノ爲ニ大ナル利益アルモノニシテ之ニ加ハル人ノ爲ニモ亦大ニ利益アルモノナリ

凡世ノ中ノ事業ハ人々カヲ合セ  
心ヲ一ニシテ勉強セザレバ之ヲ  
成ス可ト能ハズ互ニ惡ミテ親和セ  
ザレバ亦互ニ利益ヲ得ル可ト能ハ  
ズ人々親和シテ心ヲ一ニシカヲ  
合ス可ト最勉ムベキ可トナリ

第三十九 果物

○桃李枇杷林檎等ハ皆夏熟スル  
果物ナリ枇杷ハ冬日ニ花咲キ桃  
李林檎梨等ハ春ノ末花咲ク  
葡萄柿梨栗ハ秋ニ至リ熟シ蜜柑  
橙ノ類ハ冬ニ至リテ熟スルモノ  
ナリ  
都テ果物ノ十分ニ熟セザル時ハ

其味或ハ酸ク或ハ澁クシテ之ヲ

食スルハ人ニ毒

ナリ

故ニ未熟ノ果物

ハ何ニ限ラズ食

フベカラズ子供

ハ尚更之ヲ慎ム

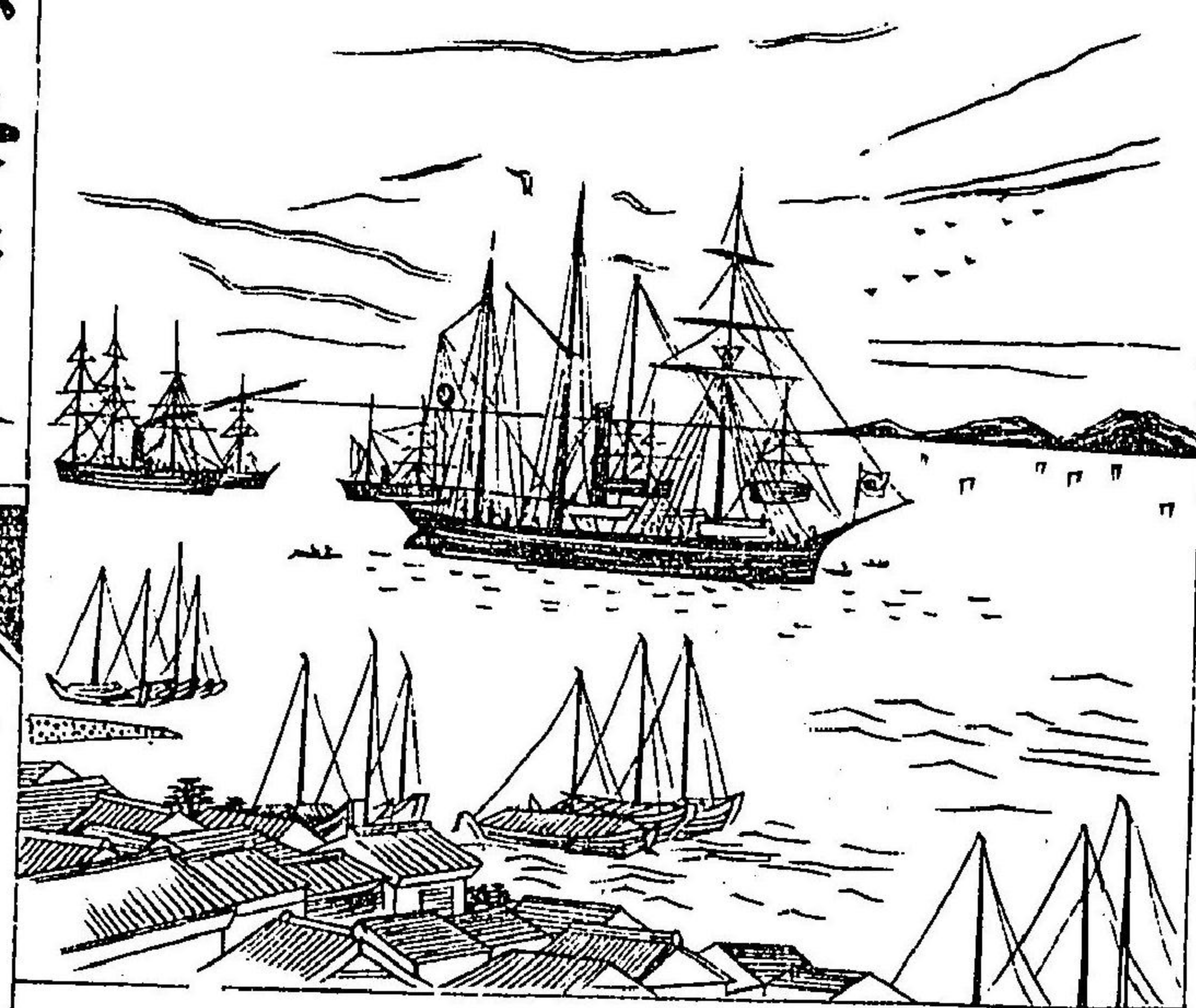


ベシ

### 第四十 港及燈明臺

○船ノ碇泊スルニ安全ニシテ又  
荷物ヲ積ミ或ハ之ヲ下スニ便利  
ナル場所ヲ港ト云フ我國ニテ最  
繁昌ナル港ハ横濱ナリ  
横濱ハ我國第一ノ都ナル東京ニ

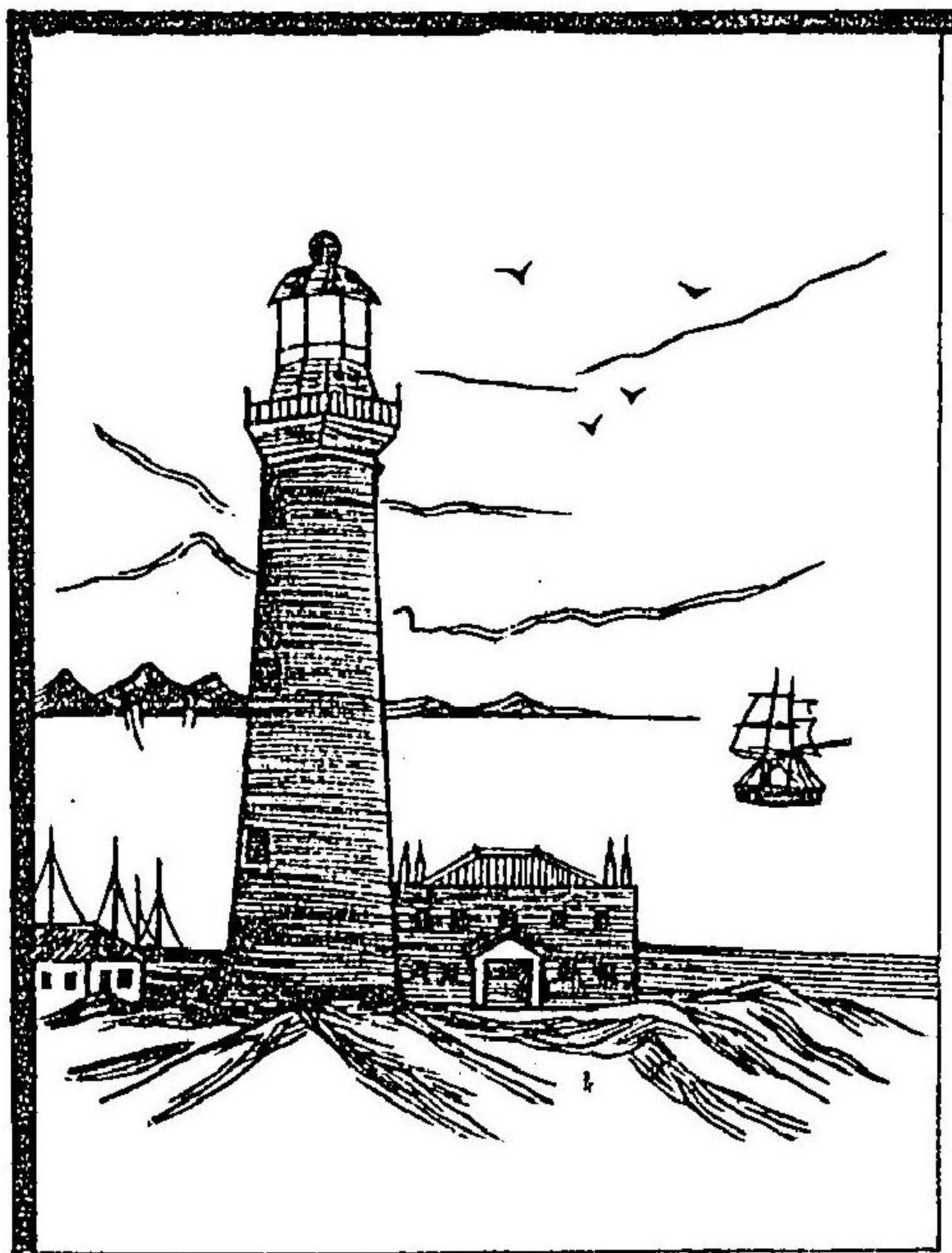
近クシテ且鐵道ノ便アルガユエ  
 ニ商賣頗ル繁昌ス蒸汽船ノ出入  
 ハ常ニ絶エズシテ荷物ノ出入モ  
 亦甚多シ外國ヨリ輸入スル品物  
 モ多クハ此港ニ著ス  
 横濱ニ次テ繁昌ナル港ハ神戸ト  
 函館ナリ神戸港ハ我國第二ノ都



會ナル大坂ニ近クシテ諸方ノ船

出入スル一亦繁  
 シ函館港ハ北海  
 道ニ在リ北海道  
 ハ產物多キガ故  
 船ノ出入モ亦隨  
 ヒテ多シ其外長

崎港新潟港等名高キ港少カラズ  
船ノ出入繁キ港ニ燈明臺ト云フ  
モノアリ其構造圖ノ如キモノニ



シテ夜ハ之ニ火  
ヲ燈スモノナリ  
遠方ヨリ來ル船  
ハ之ヲ見テ其進

路ヲ定メ闇夜ト雖安全ニ入港ス  
ルヲ得燈明臺ハ又海中ノ嶋或  
ハ陸ノ海岸ニ設ケ夜中航海スル  
船ノ便利ヲ計リタルモノアリ

第四十一 雲霧

○晴天ノ夜八月ノ光モ星ノ光モ  
皆明ニシテ人能ク之ヲ見ル然レ

空曇リタル夜ハ之ヲ見ルコトヲ  
得ズ



是人ノ目ト月星  
トノ間ニ雲懸リ  
テ其光ヲ遮ルガ  
故ナリ  
雲ハ霧ノ如キモ

ノニテ地上ニアル時ハ之ヲ霧ト  
云ヒ空ニ昇リタル時ハ雲ト云フ  
雲ノアル所ハ地上ヨリ遠カラザ  
ル也

第四十二 露霜

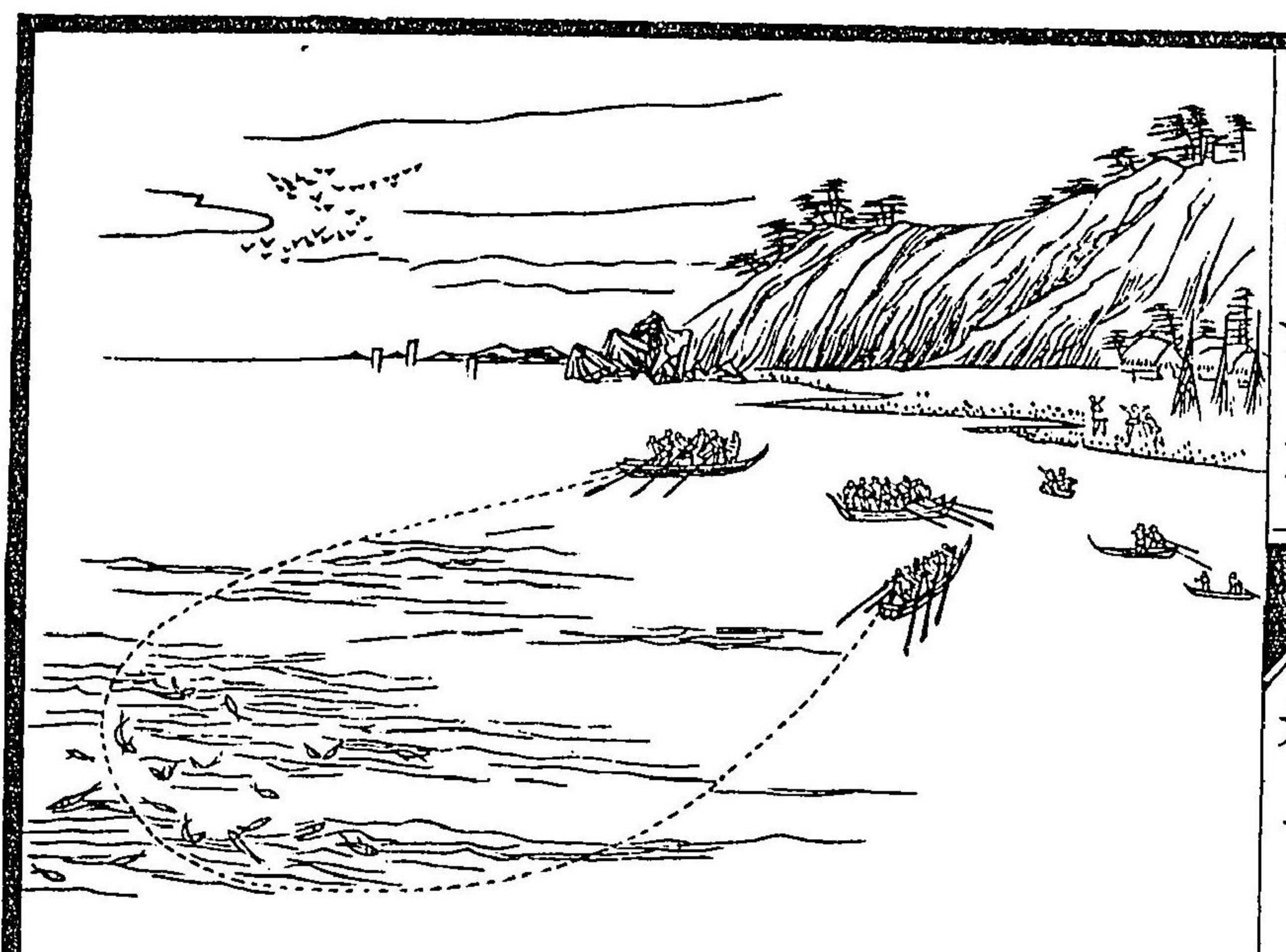
○天ニ雲ナク終夜星輝キテ一點  
ノ雨降ラザルニ朝ハ草葉ニ露ノ

カ、ルアリ終夜天晴レテ雨降ラ  
 ガルニ朝ニ於テ草葉ニ露ノ多キ  
 ハ何故ナルカ是水氣ノ地上ニ蒸  
 發スルモノ晝ハ太陽ノ熱ニ依リ  
 テ空中ニアレ氏夜ハ冷ナル草葉  
 ニ觸レテ水トナルガ故ナリ湯ノ  
 沸キタル土瓶ノ口ニ茶碗ヲ差付

クレバ蒸氣ハ冷ナル茶碗ニ觸レ  
 テ其熱ヲ失ヒ茶碗ニ露ノ生ズル  
 ヲ見ン草葉ニ露ノカ、ルモ此道  
 理ニ外ナラザルナリ

第四十三 漁業

○魚ハ釣リテ之ヲ捕ヘ或ハ網ニ  
 テ捕フルヲ通例トス左ノ圖ハ魚



ノ網ニテ捕ハル  
ル所ヲ顯ハスモ  
ノナリ網ハ川ニ  
用ウルモノト海  
ニ用ウルモノト  
大ナル魚ヲ捕フ  
ルニ用ウルモノ

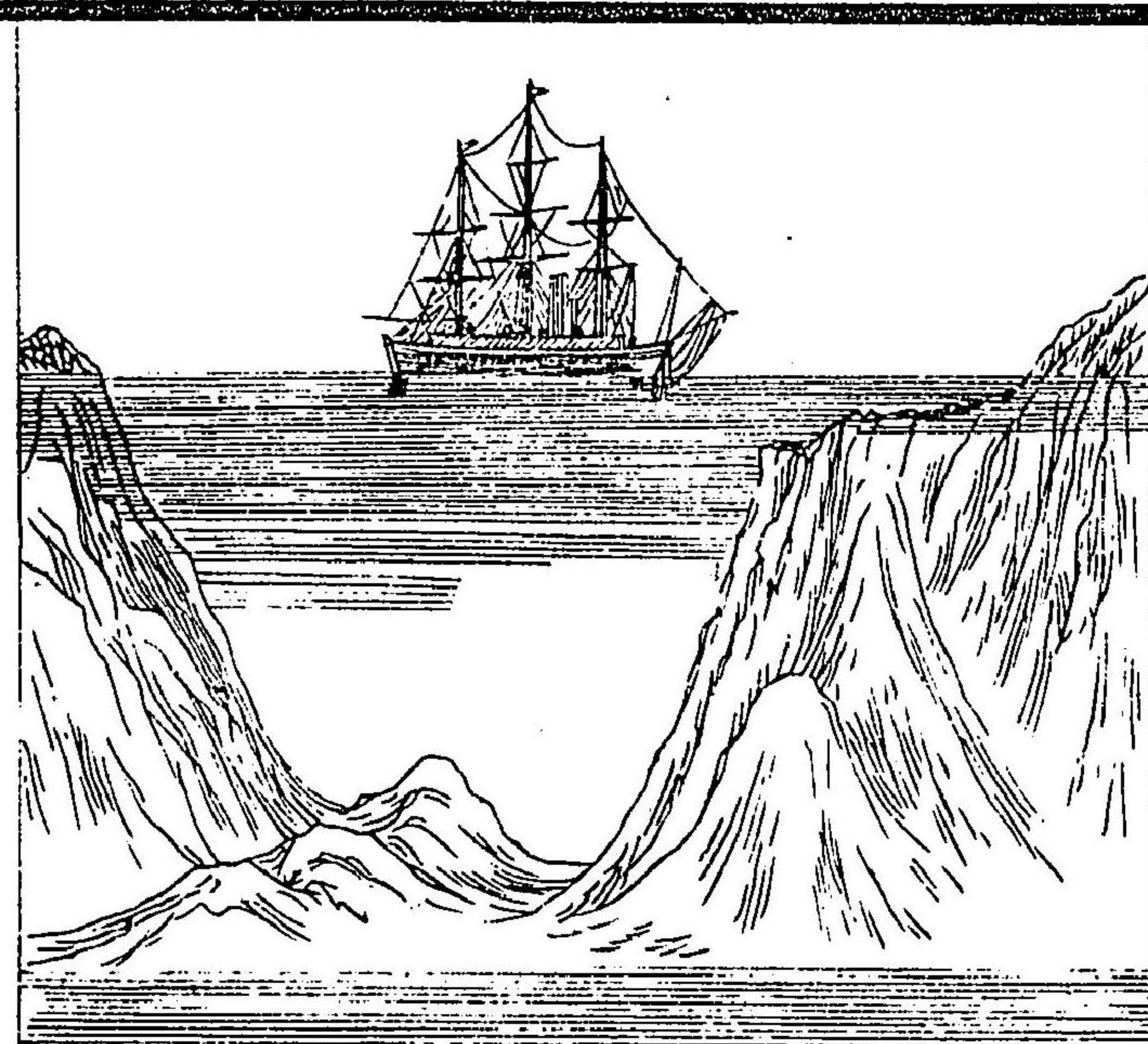
ト小サキ魚ヲ捕フルニ用ウルモ  
ノト自ラ異ナリ絲ノ細キ網ニ偶  
然大ナル魚ノカ、ルアレバ忽  
網ヲ破リテ逃ル魚モ亦強キカア  
ルモノナリ  
魚ヲ釣ルニハ絲ニ鈎ヲ付ケ鈎ニ  
餌ヲ付ケ鉛又ハ鐵ノ重リヲ添ヘテ



之ヲ水中ニ沈ム魚ハ其餌ヲ見テ  
 之ヲ食ハントスル時鈎口ニカ、  
 リテ人ニ引上ゲラル鈎ノ方法種  
 種アレ氏釣人ノ巧拙ニ依リテ魚  
 ハ餌ヲ食ヒ鈎ヲ外シテ逃レ去ル  
 故ニ拙キ釣人ハ多クノ餌ヲ魚ニ  
 奪ハレ空シク家ニ歸ルトアリ

第四十四 海ノ底

○海ハ廣クシテ水アルガ故其底  
 ハ見ルトヲ得ザレ氏船ニ乘リテ  
 之ヲ測量スレバ淺キ所アリ深キ  
 所アリテ平カナラザルヲ知ルト  
 ヲ得  
 多クノ人ノ測量シタル所ニ依レ



上ノ水面ニ顯ハレタルモノナリ

バ海底ニ高低アル  
 ルト陸地ニ山アリ  
 リ谷アリ廣キ原野  
 アルニ異ナラズ  
 海中ニ島アル  
 ハ海底ノ山ノ頂

ト云フ故ニ人若シ海底ヲ横ヨリ  
 見ルトヲ得バ必前ノ圖ノ如キモ  
 ノナルベシ  
 海ニ暗礁ト云フモノアリ此暗礁  
 トハ陸地ニアル石山ノ如キモノ  
 ニシテ其水面ニ顯ハレザルモノ  
 ナリ船ノ航海スル時暗礁ニ乘リ

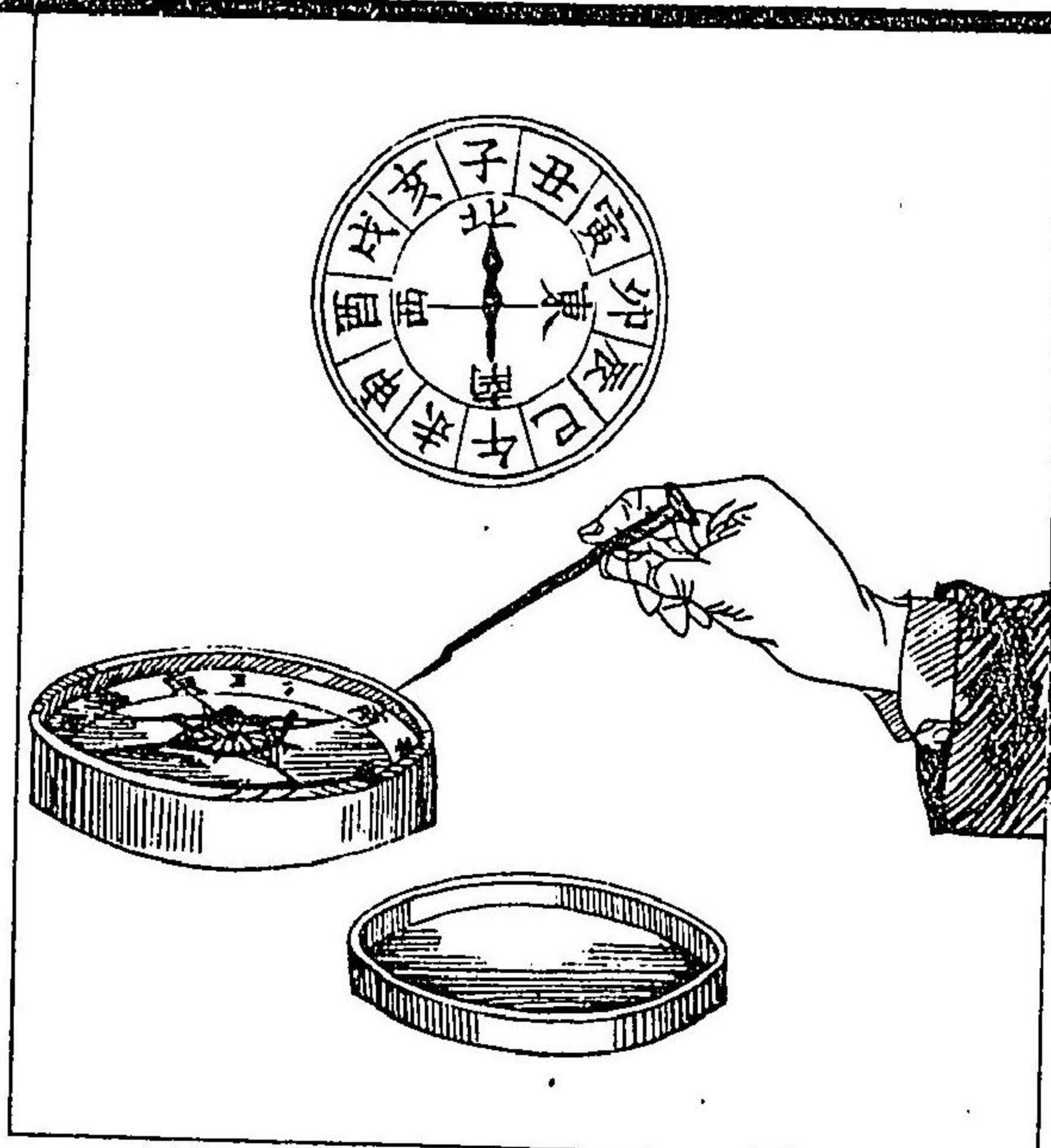
掛ケテ船底ヲ損ジ船中ニ水入り  
テ船ノ沈ムトアリト云フ

第四十五 磁石

○海上船ニ乘リテ遠ク陸ヲ離レ  
天曇リテ月星ヲ見ルトヲ得ザル  
時ハ船中ノ人東西南北ノ方角ヲ  
知ルト能ハザルベシ又深ク山奥

ニ入りタル時モ方角ヲ知ルトヲ  
得ザルトアリ斯ノ如キ場合ニハ  
磁石ニ依リテ容易ニ方角ヲ知ル  
トヲ得

磁石ハ左ノ圖ノ如キ鋼鐵ニテ針  
ヲ作り之ニ磁石ノ力ヲ起サシメ  
南北ヲ指シテ静止スル様ニ作り



故ナリ然レモ釘小刀錐鋏火箸等  
 都テ鐵類ヲ磁石ノ針ニ近ヅクレ

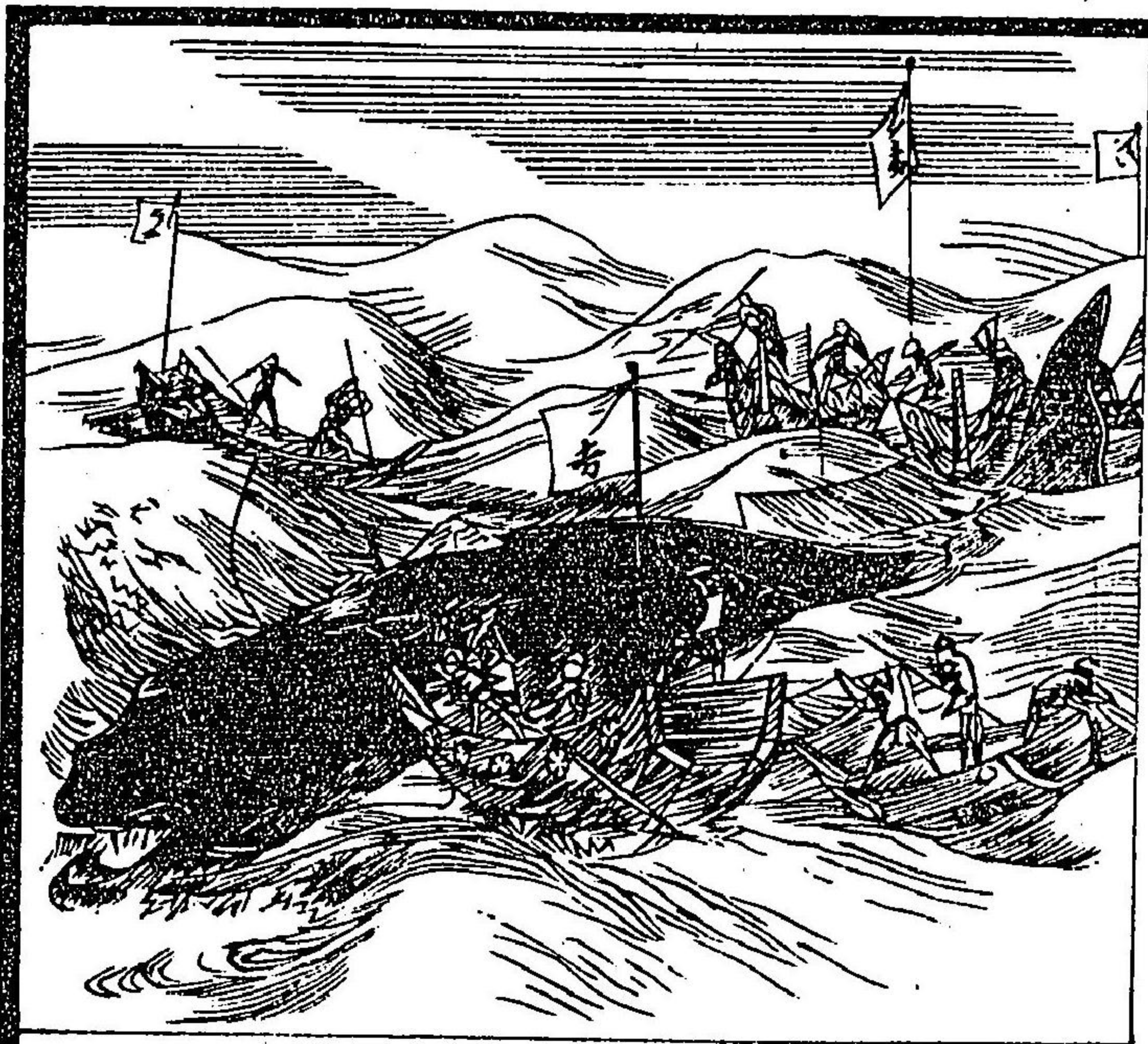
タルモノナリ  
 磁石ノ針常ニ南  
 北ヲ指スハ地球  
 ノ南北ニ磁氣アリ  
 テ之ヲ引クガ

バ針ハ即鐵ノ方ニ向フ故ニ方角  
 ヲ知ラントスル時ハ針ノ側ニ鐵  
 器ヲ置クベカラズ是鐵ハ磁石ノ  
 カニ感ジテ忽磁石力ヲ發シ針ヲ  
 引付クルノ性質アルガ故ナリ

第四十六 鯨

○鯨ハ大ナル動物ニシテ海中ニ

住ム其形ハ魚ノ如ク尾ト鰭トア



リテ水中ヲ游泳  
スレ氏魚ノ種類  
ニ非ズシテ水中  
ニ住ム獸類ナリ  
鯨ノ大ナルモノ  
ハ長サ十餘丈ア

リテ其力甚強シ之ヲ捕ントスル  
時大ナル船モ鯨ニ引カレテ沈ム  
トアリ又鯨ハ甚其子ヲ愛ス故ニ  
人其子ヲ捕レバ親ハ其所ヲ去ラ  
ズシテ子ヲ尋ネ終ニ又人ニ捕ヘ  
ラル、ニ至ルモノナリ  
鯨ヲ捕レバ多クノ油ヲ得又其骨

鱈ハ種々細工物ノ材料トナリテ  
頗ル利益アルモノナリ

第四十七

事ヲ成スニハ忍耐  
ヲ缺クベカラズ

○事ヲ成スニハ必多少ノ困難アリ  
人タル者此困難ニ耐ヘ忍ブノ  
心ナケレバ物事ヲ成シ遂グルコ  
能ハズ故ニ耐忍ハ人ニ在テ最要

用ナルモノナリ

昔西洋ニテ或國ノ王隣國ト戦ヒ  
屢敗北シ遂ニ力ヲ落シテ深ク悲  
ミ此後ハ如何セント獨思案ニ沈  
ミ居タリシニ折節側ニ蛛ノ網ヲ  
張ラントシテ屢上ヨリ落ツルモ  
ノアリ國王ハ之ヲ見テ心ニ思ヘ

小島詩才 卷二 卅 述堂藏版

ラク彼蛛ハ成シ難キ處ニ網ヲ張  
ラントシテ徒ニカヲ費ス無分別  
ノ蟲ナルカナト然レ氏此蛛ハ度  
度ノ仕損ジニ決シテ屈セズ益勉  
メテ遂ニ一筋ノ絲ヲ張ルヲ得  
後暫ノ間ニ十分ノ網ヲ張リタリ  
國王モ此ニ至テ大ニ悟リ彼小サ

キ蟲サヘモ困難ノ爲ニ志ヲ變ゼ  
ズ遂ニ功ヲ奏シタリ今我ハ國ノ  
爲ニ大事ヲ成サントシテ此ニカ  
ヲ落スハ實ニ忍耐ノ足ラザルナ  
リト是ヨリ心ヲ勵マシテ諸ノ困  
難ニ耐ヘ忍ビ遂ニ功ヲ奏シタリ  
ト云フ

思賣ノ 卅 述堂藏版

汝等學校ニ出デ、知識ヲ研キ或  
 ハ家ニ歸リテ職業ヲ習フニモ辛  
 苦ニ遇ヒテ益勵ミ困難ニ勝ツニ  
 非レバ功ヲ成ス可能ハザルベシ  
 辛苦ニ耐ヘ困難ニ勝ツ者ハ即真  
 ノ勇者ニシテ人ニ尊バル、者ナ  
 リ

第四十八

人ノ善惡貴賤ハ心ニ基ク

○人ノ善惡ハ心ニアリ善人タラ  
 ンコトヲ欲スル者ハ心ヲ善クスル  
 コトヲ勉メザルベカラズ若心ニ惡  
 シキコトヲ思ハバ即惡人トナリタ  
 ル者ニシテ他人ハ未我心ヲ知ラ  
 ズト思ヒ自恥ザルハ愚ノ至ナリ



心ノ賤シキ者ハ假令富貴ノ家ニ  
生レタルモ人之ヲ敬フコトナシ貧  
賤ノ家ニ生レタルモ心ノ貴キ者  
ハ人之ヲ尊ブニ至ル故ニ家ノ貴  
キハ頼ムニ足ラズ又其貧シキモ  
憂フルニ足ラズ志ヲ立テ、勉メ  
勵メバ貧ヲ變ジテ富トナスベシ

太閤秀吉ハ幼少ノ時人ノ僕タリ  
シモ遂ニ關白ノ位ニ昇レリ又西  
洋ニテ蒸汽器械ヲ發明セシ「ワッ  
ト云フ人ハ貧賤ノ家ニ生レシモ  
大業ヲ成シテ後世人ニ尊バル是  
皆其志人ニ勝レタルガ故ナリ富  
貴ノ家ニ生ル、モ怠惰ニ日ヲ暮

小學讀本 卷二 中近堂編輯

ス者ハ貧賤ニ陥リテ人ニ笑ハル  
ルニ至ルベシ人タル者ハ常ニ之  
ヲ考ヘザルベカラズ

小學讀本卷二下終 鼎洲原撰一書

定價金九錢

明治十九年二月二十日板權免許  
同年四月出版  
同二十年十月廿日校正御届

編纂

大分縣士族

竹下權次郎

芝區三田三丁目番地

出版

東京府士族

中島精一

芝區三田四丁目番地

發兌 東京 名古屋 中近堂

